平成１９年度　評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校３年　数学　出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点			
							数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量，図形などについての知識・理解
①	1	(1)		数と式　３年	A (1)ア　平方根の意味	数の平方根の意味について理解していること。				○
②		(2)		数と式　３年	A (1)イ　平方根の計算	数の平方根を含む式の計算ができること。			○	
③		(3)		数と式　３年	A (2)イ　一次式の乗法	一次式の乗法の計算ができ，簡単な式の展開ができること。			○	
④		(4)		数と式　３年	A (2)イ　因数分解	共通因数をくくりだし，公式を用いて因数分解ができること。			○	
⑤		(5)		数と式　３年	A (3)イ　二次方程式	二次方程式を解くことができること。			○	
⑥		(6)		図形　　２年	B (2)ウ　円周角と中心角の関係	円周角の性質を利用して，角の大きさを求めることができること。			○	
⑦	2	(1)		数と式　３年	A (2)イ　因数分解	連続する２つの偶数の積に１をたした数の性質を見つけようとすること。	○			
⑧		(2)		数と式　３年	A (2)イ　因数分解	文字式を用いた説明に適する式の変形を理解していること。				○
⑨	3	(1)		図形　　２年	B (2)イ　三角形の合同条件	三角形の合同条件を理解していること。				○
⑩		(2)		図形　　２年	B (2)イ　三角形の合同条件	２つの三角形が合同であることを，筋道を立てて証明することができること。			○	
⑪	4	(1)		数と式　３年	A (1)ア　平方根の意味	平方根の意味を理解し，近似値の求め方を考えることができること。		○		
⑫		(2)	㋐	数と式　３年	A (1)ア　平方根の意味	数の平方根の意味を理解していること。				○
⑬			㋑	数と式　３年	A (1)ア　平方根の意味	正方形の作図を利用して，与えられた長さの線分について考えることができること。		○		
⑭	5	(1)		数量関係２年	C (2)イ　確率	確率の意味について理解し，簡単な場合について確率を考えることができること。		○		
⑮		(2)		数量関係２年	C (2)イ　確率	起こりうる事象について確率の問題を考えようとすること。	○			
⑯	6	(1)		数と式　３年	A (3)イ　二次方程式の利用	具体的な事象をとらえ，その数量関係を二次方程式で表すことができること。			○	
⑰		(2)		数と式　３年	A (3)イ　二次方程式の利用	具体的な事象において，二次方程式の解が適切であるかを考えることができること。		○		
⑱	7	(1)		数量関係３年	C (1)イ　関数 $y = ax^2$ のグラフ	関数 $y = ax^2$ のグラフをもとに，y を x の式で表すことができること。			○	
⑲		(2)		数量関係３年	C (1)イ　変化の割合	関数 $y = ax^2$ の変化の割合について考えることができること。		○		
⑳		(3)		数量関係３年	C (1)イ　関数 $y = ax^2$ の利用	２乗に比例する関数と一次関数を利用して，具体的な事象を考えることができること。		○		